

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表

数値は%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか。	85	15		利用人数が超過しないよう留意している。
	②	職員の配置は適切であるか。	77	15	8	利用人数を鑑みシフトを作成している。 送迎時に添乗職員が配置できない時がある。 利用人数や様子によって不足を感じる時がある。
	③	事業所に設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	85	15		
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDACサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか。	77	15	8	会議で話し合いができるよう努めている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100			集計結果を参考に会議をしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100			ホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	46	15	39	
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	100			埼玉県の研修への参加や定期的な事業所内研修を行っている。 研修に行きやすい体制になっている。
適切な支援の提	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	92	8		利用児童の要望も取り入れていきたい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るため標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	85		15	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	92	8		イベント等委員会で立案できるよう努めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	100			配慮しているが固定になりがちの時もある。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	92	8		長期休暇中はイベントを多く企画している。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	92	8		課題や運動など、活動により変えている。STを個別で行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	92	8		朝礼を行い確認している。
	⑯	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援振り返りを行い気付いた点を共有しているか。	69	23	8	毎日終了後に確認しているが時間の十分な確保が難しい時がある。土曜日に終礼会議を行い一週間の振り返りを行っている。
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し支援計画の検証・改善につなげているか。	84	8	8	連絡帳に記録し、必要に応じて責任者に報告をしている。終礼会議で検証・改善に努めている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	100			半年ごとに実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	85	15		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	92	8		担当者が参加している。会議の開催は少ない。
	㉑	学校との情報共有（年間行事・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100			学校から予定表をもらい確認している。送迎時に話し連絡をとっている。要望に応じて学校訪問を行い連携できるよう努めている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	31	61	8	医療的ケアが必要な子は在籍していないが、全利用児童の主治医の確認をしている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	46	46	8	就学前事業所とは情報共有をしきれていないことが多い。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	46	54		現在対象児童はいないが希望により行ってきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	77	15	8	越谷市児童発達支援センターの研修に参加している。

	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	15	15	70	今後行っていきたい。
	②7	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	8	15	77	
	②8	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	92	8		送迎時に様子をお伝えできるよう努めている。モニタリング時に詳しく相談ができるよう努めている。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対して家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	38	31	31	今後行っていきたい。
保護者への説明責任等	③0	運営規定、利用者負担について丁寧な説明を行っているか。	92	8		契約時に説明している。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	92	8		担当者を決め連絡体制を整えている。相談があった際は電話か来所をしていただき相談をしている。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	92		8	保護者会を行っているが参加人数が少ない為、告知方法等を検討したい。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し相談や申し入れがあった場合迅速にかつ適切に対応しているか。	85	15		担当者を決め連絡体制を整えている。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	77	8	15	ブログやInstagramで発信しているが定期的に行えていない時もある。
	③5	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	92	8		
	③6	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	92	8		
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	15	15	70	個人情報等の観点から難しい。
	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか。	85	15		マニュアルを策定しているが周知しきれていない部分もある。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100			年に二回は行っている。利用日に重ならないと参加が難しい児童も多い。様々な災害を想定して実施している。

適切な支援の提供	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	92	8		年に一回全職員研修を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむ負えず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で放課後等デイサービス計画に記載しているか。	77	8	15	研修で周知しているが該当児童はいない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされ	84	8	8	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	92	8		作成をし周知できるよう努めている。